

日本木材学会 組織と材質研究会 2013 年秋季シンポジウム

「樹木の肥大成長と生育環境・樹木生理」

樹木が生育する環境は樹木の肥大成長に影響を及ぼしている。おそらくそれらは、生育環境→環境に適応するための樹木の生理的な営み→木部形成とその多様性のような一連のサイクルによって理解される必要があり、このことを解明することが木材形成や木材組織、材質育種を研究するものにとって大きな目的である。本シンポジウムにおいては、それらに関してそれぞれの研究分野における研究を紹介していただき、木部形成と樹木生理についての理解を深める。2001年に「樹木の成長と環境」という類似のタイトルでシンポジウムを開催しているが、それから10年以上が経過した今、新しい分析手法や機器を用いた研究も行われ、講演者の先生方には最新の研究事情もふまえたご講演をいただき、木部形成に関して環境と樹木生理の分野での総合的な理解を深めるための機会としたい。

【日時】2013年9月29日（日）9:00-16:30（受付8:30開始）

【場所】北海道大学農学部 W109 室（総合研究棟1階・多目的室）

【参加費】無料（要旨集代含む）

【懇親会】17:00-19:00 ベストウェスタン ホテルフイーノ札幌 14F（札幌市北区北8条西4丁目）

【懇親会費（予定）】（一般）5,000円、（学生）3,000円

【主催】日本木材学会 組織と材質研究会

【申込先】児嶋美穂（東京大学）E-mail: mihokojima@anesc.u-tokyo.ac.jp

【締切】9月20日（金）

9:00-9:05 挨拶 船田 良 氏（東京農工大学）

9:05-9:10 趣旨説明 児嶋 美穂 氏（東京大学）

9:10-10:00 韓 慶民 氏（森林総研）「繁殖による炭水化物の非同化器官への配分変化及び高 CO₂ 濃度の影響」

10:00-10:50 稲垣 昌宏 氏（森林総研）「樹木の成長と養分の要求、獲得、転流」

10:50-11:40 矢崎 健一 氏（森林総研）「木部の通水機能と葉の生理特性」

11:40-12:50 -お昼休み-

12:50-13:40 山本 福壽 氏（鳥取大学）「環境ストレスと樹木の形成層活動および偽心材の形成」

13:40-14:30 織部 雄一朗 氏（森林総研）「樹木における年輪形成開始と生育環境との関わり」

14:30-15:20 安江 恒 氏（信州大学）「年輪年代学的アプローチを適用した木部形成と環境の関係解明」

15:20-15:50 -休憩-

15:50-16:20 総合討論

16:20-16:30 クロージングリマーク 佐野 雄三 氏（北海道大学）

16:30 終了

17:00-19:00 懇親会